

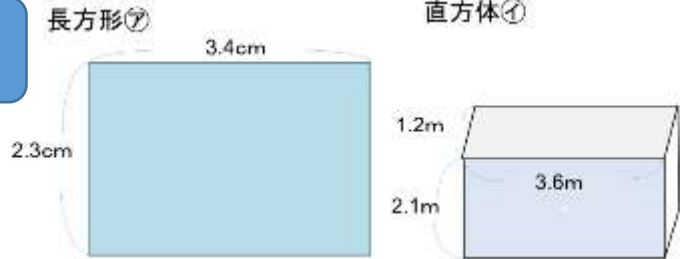
【算数】

「※」は、学習する時のアドバイスです。

＜学習内容＞◆小数のかけ算（教科書 53 ページ～）

長方形㊦の面積と、直方体㊩の体積を、それぞれ求めましょう。

あれ？ 今までの長方形や直方体とちがって、辺の長さが小数になっているね。



辺の長さが小数でも、面積や体積の公式が使えるのかな。

㊦の長方形を 1 辺が 1 mm の正方形で考えよう。

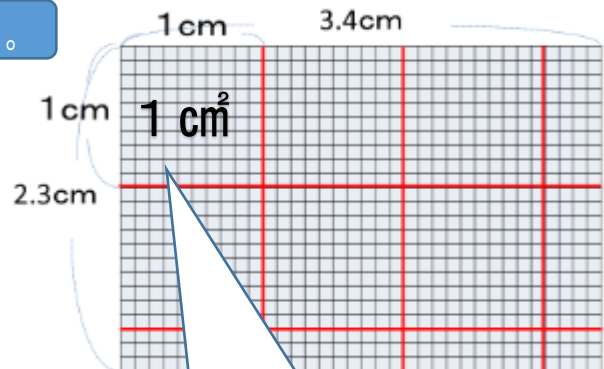
2. 3cm = mm

3. 4cm = mm

だから、

× =

1 辺が 1 mm の正方形が 個分



1 mm² が 782 個分は、何 cm² かな。

※ 1 cm² には 1 mm の正方形が 100 個入っているね！

面積の公式に当てはめて求めてみよう。

式 答え

※長方形の面積を求める公式は何だったかな？

※上の答えと同じになったか確かめよう！

㊩の体積を単位を cm で考えて、m のまま公式を使って計算したときと比べよう。

cm で考えると、

× × =

※ 1 m³ は 1000000 cm³ だったね。

cm³ = m³

m のまま考えると、

× × =

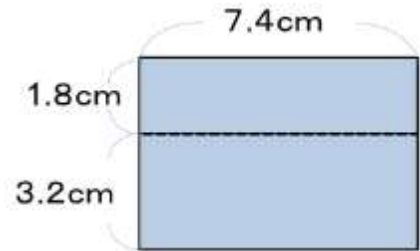
※同じになったか確かめよう！

※ここまでの学習を確かめよう。



面積や体積は、辺の長さが **小数** で表されていても、**公式** を使って答えを求めることができます。

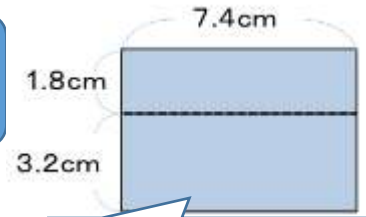
右の長方形の面積の求め方を考えよう。



※どんな式で考えられるかな。

こんな式で考えた人がいたよ。 $1.8 \times 7.4 + 3.2 \times 7.4$ 。
どう考えたのかな。答えも出してみよう。

答え



※ 1.8×7.4 と 3.2×7.4 が、図のどこになっているかな。

こんな式で考えた人がいたよ。 $(1.8 + 3.2) \times 7.4$ 。
どう考えたのかな。答えも出してみよう。

答え

※上の答えと同じになったかな？

※長方形をどう見ているのかな？

$1.8 \times 7.4 + 3.2 \times 7.4 = (1.8 + 3.2) \times 7.4$ ということは、
 $(\bigcirc + \Delta) \times \square = \bigcirc \times \square + \Delta \times \square$ が小数でも成り立つということだね。

だったら



ほかの計算のきまりも小数でも成り立つのか調べよう。

① $\bigcirc \times \Delta = \Delta \times \bigcirc$

② $(\bigcirc \times \Delta) \times \square = \bigcirc \times (\Delta \times \square)$

③ $(\bigcirc + \Delta) \times \square = \bigcirc \times \square + \Delta \times \square$

④ $(\bigcirc - \Delta) \times \square = \bigcirc \times \square - \Delta \times \square$

※式の左と右にそれぞれ小数をあてはめて計算し、同じになるか確かめよう。あてはめる数で迷ったときは、例えば、 $\bigcirc = 0.5$ 、 $\Delta = 0.3$ 、 $\square = 1.2$ として考えてみよう。

※たりないときは取組シートやノートを使ってね！

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆ 小数のかけ算 (教科書 P53～)

- ・ 整数で考えるために単位を変えたり、計算のきまりが成り立つかを確かめるために自分で数をあてはめながら考えたりする姿をほめてあげてください。